

機能性消化管障害への診療的アプローチ

慶應義塾大学医学部医学教育統轄センター教授

鈴木秀和

機能性消化管障害(FGIDs)は、肉眼あるいは内視鏡的に観察可能な器質的疾患がないにもかかわらず、慢性持続性に消化管由来症状を呈する症候群であり、近年では、Rome 委員会において、その疾患概念と診断基準、治療体系などが議論され、2016年5月には、新規の改訂版として、Rome IV が発刊した。この FGIDs のうちで、胃・十二指腸障害である機能性ディスペプシア (FD) と腸障害である過敏性腸症候群(IBS)は、代表的な機能性疾患といえる。FD は、辛いと感じる、食後の胃もたれ、早期飽満感、心窩部痛、心窩部灼熱感の症状のうちの一つ以上を慢性的に呈するもので、後の胃もたれや早期飽満感を呈する食後愁訴症候群(PDS)と心窩部痛や心窩部灼熱感を呈する心窩部痛症候群(EPS)の2つの症候群に亜分類される。FD の原因には、胃の運動機能異常・内臓知覚過敏・心理社会的因子などが想定されているが、最近では、十二指腸における軽度の炎症、好酸球や肥満細胞の浸潤が重要であるといわれている。一方、IBS は、過去3ヶ月間、平均して少なくとも週に1日、腹痛が繰り返し起こり、1. 排便に関係する、2. 排便頻度の変化と関連する、3. 便形状(外観)の変化と関連するの2項目以上がある場合に診断される。これまでの Rome III

では、腹痛だけでなく、腹部不快感も含まれていたなど、Rome IV ではより厳しい基準になったわけで、このために患者人口の縮小が考えられる。Rome IV では、新たな治療オプションについても加筆されたが、その中には、薬物療法だけでなく、食事療法、代替補完療法、行動療法なども含まれている。

参考文献

1. Stanghellini, Suzuki et al. ***Gastroenterology*** 150:1380-1392, 2016
2. Lacy et al. ***Gastroenterology*** 150:1393-1407, 2016

略 歴

慶應義塾大学医学部 医学教育統轄センター 教授

鈴木 秀 和 (すずき ひでかず)



Hidekazu Suzuki, MD, PhD, FACG, AGAF, RFF

職歴及び研究歴:

	1989年	3月	慶應義塾大学医学部卒業
	1993年	3月	慶應義塾大学大学院医学研究科博士課程所
定単位修了			
	1994年	3月	博士(医学)(慶應義塾大学甲 第1292号)
	1989年	5月	慶應義塾大学病院研修医(内科)
	1993年	4月	慶應義塾大学病院専修医(内科)
	1993年	4月	米国カリフォルニア大学サンディエゴ校研究員
	1996年	4月	慶應義塾大学助手(医学部内科学)
	2002年	6月	慶應義塾大学医学部・信濃町キャンパス・リサーチパーク
			研究計画責任者
外部研究員	2002年	10月	財)山形県企業振興公社 生物ラジカル研究所
	2003年	4月	東京歯科大学非常勤講師(内科学)
学)	2003年	4月	慶應義塾大学専任講師(学部内)(医学部内科
医長	2005年	4月	社)北里研究所 北里研究所病院 消化器科
ク研究代表者	2005年	10月	慶應義塾大学信濃町キャンパスリサーチパー
器))	2006年	8月	慶應義塾大学専任講師(医学部内科学(消化
器))	2011年	4月	慶應義塾大学准教授(医学部内科学(消化
professor	2012年	12月	ワシントン大学医学部消化器内科学 visiting
	2013年	4月	慶應義塾大学病院 消化器内科診療副部長
ター)	2015年	11月	慶應義塾大学教授(医学部医学教育統轄セン
	2015年	12月	慶應義塾大学 大学院医学研究科委員
	2016年	4月	東京歯科大学内科学講座客員教授
	2016年	10月	慶應義塾大学関連病院会理事
討委員	2017年	2月	慶應義塾大学大学院医学研究科 大学院検

学会役員等: 日本微小循環学会 理事長、日本臨床中医薬学会 副理事長
 日本ヘリコバクター学会理事、日本潰瘍学会理事、日本がん予防学会理事
 日本神経消化器病学会理事
 日本消化器病学会 財団評議員、日本消化器内視鏡学会 評議員
 日本消化管学会 代議員、日本胃癌学会 代議員、日本医学教育学会代議員
 日本酸化ストレス学会 評議員、日本自律神経学会 評議員

**American Gastroenterological Association Fellow (AGAF)、AGA 国際委員
Fellow of American College of Gastroenterology (FACG)
Rome 委員会 Rome IV chapter 委員, Rome Foundation Fellow (RFF)**

専門医: 日本専門医機構 専門医認定・更新部門委員会 常任委員
日本内科学会 総合内科専門医 日本消化器病学会 指導医
日本消化器内視鏡学会 指導医 日本消化管学会 胃腸科指導医・専門
医
日本肝臓学会 肝臓専門医 日本がん治療認定医機構 がん治療認
定医
日本プライマリ・ケア連合学会 指導医・認定医
日本ヘリコバクター学会 *H. pylori* (ピロリ菌)感染症認定医
日本臨床栄養学会 認定栄養医

賞罰:

平成 16 年 7 月 第 10 回日本ヘリコバクター学会・小林六造記念ヘリコバクター賞
平成 19 年 6 月 慶應義塾大学医学部三四会 北島賞
平成 23 年 5 月 日本消化器病学会 第 3 回 Journal of Gastroenterology High Citation Award
受賞
平成 23 年 7 月 日本酸化ストレス学会 学術賞 (The SFRR Japan Award of Scientific
Excellence) 受賞
平成 26 年 2 月 公益財団法人 高松宮妃癌研究基金 平成 25 年度研究助成 受賞

研究業績: 欧文原著 (240 編) 欧文総説 (71 編) h-index: 38
和文原著 (123 編) 和文総説 (248 編)
欧文著書 (68 編) 和文著書 (101 編)

近著 “*Helicobacter pylori*” edited by Hidekazu Suzuki, Robin Warren, Barry
Marshall, Springer, ISBN: 978-4-431-55704-3 (Print), 978-4-431-55705-0 (Online),
Apr. 2016